

「ハコモノ建設ありき」阻んだ世論の力

国政も地方も建設的野党を 大きく伸ばして下さい

8月の衆議院選挙での自公政権を退場させた国民の政治変革は、町政にも大きく影響し、町民は「ふるさと交流村計画の大幅見直し」「開かれた町政」などを掲げた北川町政の誕生につながりました。西澤議員は12月15日の一般質問で次のように述べました。

のです。私は北川町政に対していいことには賛成し、間違ったことには反対しながら、住みやすい甲良町にしてゆくために「建設的野党」の立場で臨むことを改めて表明します。

る失望感がますます広まる中、かといって、自公に有権者が戻るか、話はそう単純ではないでしょう。
子ども手当や高校授業料無償などの財源は大企業優遇税制の見直し、軍事費の削減、米軍への思いやり予算に思い切つてメスを入れなければ「財源さがし」の答えは見つかりません。

「自公退場」 町政にも影響

先の町長選挙は甲良町政における大きな節目、転換点だったと私は思います。ひとつには現職が一般的には断然有利とするもとの転換でした。

鳩山首相の秘書2人が起訴され、首相本人の責任が厳しく問われています。民主党の路線そのものの限界も明らかになりつつあります。普天間基地撤去をめぐる迷走、財源の不確かさなどです。その二つともが「日米軍事同盟絶対」と「大企業中心」という縛りから抜け出せないことから起きる矛盾、迷路でもあるのではないのでしょうか。

私達は国民の期待と不安・関心に応えるため、実力ある党への成長をめざしてがんばります。みなさんのご支援を心からお願い致します。

二つには、山崎前町長がふるさと交流村計画を「せせらぎ遊園のまちづくり」の第2ステージとして描いたもとでもダメな物はダメと町民がシッカリ意思表示したこと。

参議院選は
実力つけて
来年7月は参議院選挙です。民主党中心の政権に対す

従来「せせらぎ遊園」というキャッチフレーズがつけば、たいていの事業を町民は拒否しづらい状況がありましたが、これを乗り越えたことは大きな変化だと思っています。

参議院選は
実力つけて
来年7月は参議院選挙です。民主党中心の政権に対す

三つ目には国政で長年の自民党政権を退場させた流れが町民世論となり、町民の声を聞かない山崎町政は何としてもやめさせたいという心が一つになって、決意を固めた北川豊昭氏に期待が集まり、北川町政誕生へとつながったものと考えます。

町民の世論が 中身をつくる

町政の自身はこれからにかかっていると思います。町民がどんどん主人公としての声を届け、町政がどのような方向でいくか、試されていると思う

「談合情報提供者 が前町長に謝罪」?

12月議会(12月15日)で野瀬主監は、山崎前町長から「談合情報」提供者が謝罪したとの報告を受けた旨を明らかにしました。

これは、金澤議員が一般質問で「前町長からこの談合情報に関して引き継ぎを受けたか(要旨)と北川町長に質問し、町長は、何ら引き継ぎをしていないと明快に否定した後、野瀬主監が答弁したものです。

この「談合情報提供者が謝罪した」という報告自体、公開の場で初めて明らかにされたことであり、いつ、どこで「報告」されたのか、極めて重大なことなのにテレビ局や新聞社に訂正を要請したのか(甲良民報には要請はありません)、深い謎が広がっています。

「直売所のみ建設」

12月議会で北川町長は、直売所のみ建設、他のものは造らない、と明確に答弁。さらに、一年を通して安定した出荷体制ができてから着手する旨明らかにしました。他の議員の質問に答えました。

国庫補助の有効期間が平成24年度ということで、体制や経営責任などが整わない内の見切り発車とならないよう、生産支援など充分なる検討が肝心ではないでしょうか。



甲良民報

2009年12月27日 437号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel. Fax 38-4949